

第2期広島市立大学塾活動報告【7月10日】

国際学部国際学科2年

西岡 実優

7月10日の市大塾は、6月5日に本塾でお話をしてくださった播磨聡さんのご案内のもと、広島駅での「夜回りの会」の活動に参加しました。実際に播磨さんからホームレス支援についてのお話を伺い、後日に塾の活動でそのことについて市大塾のみんなでディスカッションをして各個人で考えた後だったので、私自身、この活動に非常に興味を持っていました。

広島駅での活動の前に、観音にある教会で行われたミーティングを見学しました。その場には、私たち以外にも文教大学の学生や韓国からきている学生もいました。ミーティングの中で、「夜回りの会」の活動に賛同して寄付をしてくださった女性の話を聞き、実際に女性から送られた手紙を読んで、見えないところからでも応援してくれる人がいること、また、そのような活動に参加できることを改めてうれしく思いました。

広島駅につくと、皆さんがすでに並んでいました。その中にはお酒を飲んでいるような、いわゆる多くの人が思い浮かべるであろう「ホームレス」の方もいましたが、多くはその辺を歩いている人と何ら変わらない方々ばかりでした。明るい方が多く、いきなり参加した私たち学生にもフレンドリーに話してくださる方がいたのがとてもうれしかったです。「ホームレス」という一単語だけで括って偏見を持つべきではないと感じました。

その日集まっていた皆さんに食べ物などをお渡しした後、ホームレスの方からお話を聞くことができました。播磨さんが皆さんに質問をしながら話していただく感じだったので、その会話の途中からでも、播磨さんに対してホームレスの皆さんが信頼を寄せているのが伝わってきました。播磨さんのおかげで多くのお話を伺うことができて良かったです。

「夜回りの会」の活動が終了した後、ホームレスの方々が寝場所になっている駅構内の場所を案内していただきました。23時から利用できるとのことでしたが、私たちが行ったときはまだその場所にあるお店が営業していたため、その場に寝ている人が複数いる様子を、正直あまりイメージできず、どこか信じられないような気持ちにもなりました。

私たちは今回、とても貴重な体験をさせていただきました。今回の経験も頭に入れて、社会勉強をもっとしていくべきだと感じました。

